

企画書評価基準

「AI ガバナンスに関する審査支援および調査等に関する委託」

株式会社ゆうちょ銀行
I T戦略部 I T戦略担当

本評価基準については、「AI ガバナンスに関する審査支援及び調査等に関する委託」の仕様書等に基づいて定めたものであり、評価に当たっては以下により行う。

- 1 評価項目
評価項目は、下表に定める項目とする。
- 2 得点配分
得点配分は下表に定めるとおりとし、評価項目について有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて最高400点を付与する。
- 3 取引先の決定方法
公募文のとおり。
- 4 評価観点
評価観点は下表に定めるとおりとし、これに基づき加点を与える。

企画書評価基準表

#	評価項目	評価観点	配点
①	要件理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当行における AI ガバナンスに関する現状や検討課題について適切に理解していること。 ・ 先進的な他行を含む、国内外及び金融業界内外における AI 利活用並びに AI ガバナンスに関する動向について知見を有しており、当行の位置づけについて適切に理解していること。 	40
②-ア	AI 案件に対する審査に関する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援アプローチが明確化されており、実効性が確認できること。 ・ 他行への支援実績等を踏まえ、当行における審査において課題や議論が発生しやすい点を理解し、対策等が示されていること。 ・ 標準的な審査支援案件における、想定スケジュールが示されていること。 	60
②-イ	AI に関する調査および助言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査および報告について、具体的なアプローチや成果物のイメージが示されていること。 ・ AI ガバナンス改善に関して、当行の課題認識を理解しており、改善・高度化に向けた助言方針やアプローチ方法が明確化されていること。 	60
②-ウ	②-ア、②-イ 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査対象案件の発生状況に応じて、柔軟な対応ができる提案があること。 ・ 依頼事項の発生時期や件数が不確定であることを踏まえ、原則、全額を作業工数に対する実績清算である提案を評価する。なお、体制維持等のために、全額を作業工数に対する実績清算とすることが困難な場合は、可能な限り固定的な費用請求の少ない提案が望ましい。 	20
③	実施体制・専門知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託業務のスケジュールが明示されており、委託業務の実現性が確認できること。 ・ 案件審査の支援を行う主体として、当行における AI 導入、開発案件に利害関係を有していないか独立性を保つために必要な対策や体制整備がされていること。 ・ AI ガバナンスに関する検討プロジェクトや審査、AI 利活用案件の支援等への参画経験があり、本件委託業務に有用な知見を有するメンバーがアサインされていること。 ・ 想定される個別の論点・委託業務の作業工程に応じて、専門知見を有する適切な要員がアサインされていること。 	60

#	評価項目	評価観点	配点	
④	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国内金融機関、特に銀行業における AI ガバナンスに関する検討支援の実績を有しており、そのノウハウを委託業務に活用できること。 ・加えて、特にメガバンクにおける AI 関連案件の支援実績があること。 ・その他、上記に限らず本委託業務の遂行に有用な支援実績を有している場合は評価する。 	40	
⑤- ア	見積	見積額	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に定める委託業務を十分に遂行可能な作業工数が見積もられており、想定対応件数と単価を掛け合わせて算出した金額が、想定金額に対して低廉な提案があった場合、その割合に応じて評価する。 	40
⑤- イ		実績清算	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼事項の発生時期や件数が不確定であることを踏まえ、柔軟な支払いが可能な提案がある場合評価する。 	40
⑥	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、予定金額の範囲内において、仕様書等に記載している委託業務内容の範囲を超えるような提案等がある場合は、その有益性に応じて評価する。 	40	
	合計		400	